

家畜保健衛生所情報

令和5年6月26日

台風・大雨等の自然災害に備えましょう

今月上旬に本州付近に停滞した梅雨前線と台風2号の影響により、全国各地で大
雨や河川の増水、土砂崩れ等の被害が報告されています。今後も、台風や局地的な大
雨等による冠水や道路の寸断といった、畜産経営に影響を及ぼす自然災害発生のリ
スクに備えるため、日頃から下記の実践に努めてください。

事前の対策について

- (1) 府や市町村が公表している防災ハザードマップを確認し、どのような災害にあ
う可能性があるか予め把握してください。
- (2) 家畜の飼養管理者及び家畜の避難先や避難経路を予め検討してください。また、
被災時の緊急連絡先（役場、農協、家保など）を確認してください。
- (3) 停電や浸水に備え、発電機や排水ポンプ等の準備に努めてください。
- (4) 飼料や燃料は、少なくとも1週間以上家畜を飼養するために必要な量を在庫と
して持つように努めてください。また、飲水についても貯留タンクの設置やく
み上げポンプなどの準備に努めてください。

被害拡大防止のための対策について

- (1) 市町村などから避難勧告が出された場合には、人命を守るための行動を最優先
してください。
- (2) 避難までに時間的余裕がある場合には、しばらく飼養管理ができない可能性を
考えた対応・対策を講じてください。
- (3) 機械への通電を再開する際には、漏電やショートに留意し、気をつけて作業を
してください。
- (4) 道路の寸断等により車両による飼料の搬入が困難な状況が長期化すると想定さ
れる場合には、家畜の生命維持を優先に、飼養管理を変更してください。また、
避難先候補地への家畜の移動も検討してください。

裏面もご確認ください

暑熱ストレスの軽減を図りましょう

今年も既に気温が上がり始めていますが、暑さは家畜の生産性が低下する原因となります。下記の暑熱対策も参考に、夏本番を迎える前の今の内から計画・準備して、家畜の暑熱ストレス軽減に配慮した飼養管理を心がけましょう。

畜舎環境面から

★畜舎内での対策

- (1) 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水、散霧
- (2) 飼育密度の緩和

★畜舎外での対策

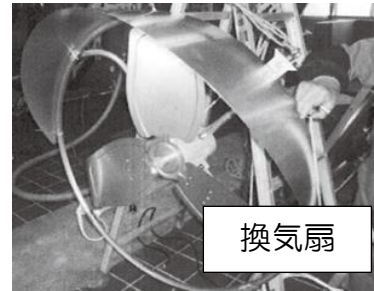
- (1) 寒冷紗、よしずによる日除け
- (2) 屋根裏・壁・床への断熱材の設置
- (3) 屋根への消石灰の塗布



細霧装置



石灰散布



換気扇

飼養管理面から

- (1) 良質で消化率の高い飼料給与
- (2) ビタミンやミネラルの追給
- (3) 清浄で冷たい水の給与

家畜が暑さを感じる温度



約 19℃



約 22℃



約 26℃

なお、詳しい情報は下記ホームページについてもご確認ください。

農林水産省：https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/1_tiku_manage/



本情報に関するお問い合わせ及び通報先は

大阪府家畜保健衛生所

〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1-59

TEL：072-458-1151 FAX：072-458-1152
